

Mizuho Daily Market Report

2025/3/12

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.91	147.78	+0.51	▲2.01
EUR	1.0895	1.0919	+0.0085	+0.0293
AUD	0.6285	0.6298	+0.0020	+0.0026
SGD	1.3307	1.3301	▲0.0038	▲0.0088
CNY	7.2283	7.2302	▲0.0298	▲0.0337
MYR	4.4184	4.4145	▲0.0095	▲0.0508
THB	33.85	33.81	+0.02	▲0.04
IDR	16409	16405	+65	▲40
PHP	57.23	57.24	▲0.16	▲0.53
INR	87.27	87.21	▲0.12	▲0.06
VND	25488	25480	▲39	▲86

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.280%	+6.7 bp	+3.6 bp
日本(10年)	1.515%	▲6.2 bp	+9.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.897%	+6.4 bp	+40.2 bp
オーストラリア(5年)	3.909%	▲7.0 bp	+5.6 bp
シンガポール(5年)	2.455%	▲7.6 bp	▲11.1 bp
中国(5年)	1.734%	+5.9 bp	+16.1 bp
マレーシア(5年)	3.580%	▲0.9 bp	▲1.5 bp
タイ(5年)	1.922%	▲1.5 bp	▲3.7 bp
インドネシア(5年)	6.716%	+2.9 bp	+8.2 bp
フィリピン(5年)	5.867%	▲3.3 bp	▲1.0 bp
インド(5年)	6.603%	▲1.0 bp	▲5.0 bp
ベトナム(5年)	2.320%	▲0.2 bp	▲6.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	41,433.48	▲1.1%	▲2.6%
N225(日本)	36,793.11	▲0.6%	▲1.4%
STOXX50(ユーロ圏)	5,309.90	▲1.4%	▲1.4%
ASX(オーストラリア)	4,590.97	▲1.1%	▲2.7%
FTSE(シンガポール)	3,825.83	▲1.9%	▲1.7%
SSEC(中国)	3,379.83	+0.4%	+1.7%
SENSEX(インド)	74,102.32	▲0.0%	+1.5%
JKSE(インドネシア)	6,545.85	▲0.8%	+2.6%
KLSE(マレーシア)	1,520.15	▲1.1%	▲2.3%
PSE(フィリピン)	6,206.55	▲2.4%	+2.3%
SETI(タイ)	1,187.63	+0.9%	+0.8%
VNINDEX(ベトナム)	1,332.54	+0.2%	+1.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	302.95	+0.2%	+0.6%
金	2,915.90	+0.9%	▲0.1%
原油(WTI)	66.25	+0.3%	▲2.9%
銅	9,639.18	+1.4%	+3.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.50	-	149.20
EUR/USD	1.0770	-	1.0920
AUD/USD	0.6235	-	0.6430
USD/SGD	1.3240	-	1.3485
USD/CNY	7.2260	-	7.2790
USD/INR	4.3800	-	4.4930
USD/THB	33.20	-	35.15
USD/IDR	16100	-	16600
USD/PHP	56.90	-	58.70
USD/VND	85.80	-	87.80
USD/VND	24,700	-	25,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は、147円ちょうど付近でオープン。取引開始前には本邦24年10～12月期GDP改定値が発表、速報値からの下方修正を受けて発表直後は円売りで反応も影響は限定的となり、その後は一時146円台半ばまで反落。147円を挟んで方向感なく推移し、147円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨はまちまち。特段目立ったニュースが無い中、フィリピンペソは小幅高で前日比0.3%高と上昇傾向を維持。一方、インドネシアルピアは他アジア通貨対比こも低パフォーマンスとなっており、前日比▲0.4%の下落となった。

海外市場のドル円は147円台前半でスタート。日経平均株価の軟調な展開が重しとなり、一時146円台半ばへ下落。しかし、その後はトランプ米大統領が米主要企業トップと会談を行う等との報道を受け、じりじり値を戻し、147円台半ばでNYオープン。午前中に発表された米1月JOLT求人件数は予想を上回り、148円台前半で上昇するも、続いてトランプ大統領が「カナダからの鉄鋼に対し追加の25%の関税を賦課する事を商務長官に指示した」との速報が伝わるとリスクオフムードが強まり、147円台前半へ下落。午後はウクライナが30日間停戦の米国案を受け入れる用意があるとの速報を背景にリスクオフムードが後退し、147円台後半まで戻しクローズした。

【金利】

昨日の米10年債利回りは上昇。欧州時間にかけてじり高となった後、NY時間に入って発表された米1月JOLTはポジティブな内容(金利上昇材料)となった一方、鉄鋼に関する追加関税のヘッドラインが流れたことで一時金利低下。ただ、NY時間午後、ウクライナ停戦のヘッドライン後は金利上昇で反応し、前日比では+6.7bpでクローズ。

【予想】

本日のドル円は方向感に欠ける展開を予想。昨日のトランプ関税による値動きは相応に織込まれていたであろう一方、ウクライナ停戦に関するヘッドラインは足元のリスクオフムードを持ち直す材料となった。ドル円相場は下落には少なくとも歯止めがかかったと見られるが、今晩は米2月CPIの発表を控えており、一旦は様子見の方向感が掴みづらい相場となるか。

【本日の予定】

(日本) 1Q 景況判断BSI(大企業全産業)
(日本) 2月 国内企業物価指数
(日本) 国債入札(20Y)
(アジア) 1月 インド 鉱工業生産
(アジア) 1月 マレーシア 鉱工業生産 / 製造業基本売上高
(アジア) 2月 NZ クレジットカード 支出合計
(アジア) 2月 インド CPI
(アジア) 2月 インド 貿易収支
(アジア) 2月 韓国 失業率
(欧州) 伊 国債入札(12M)
(欧州) 独 国債入札(10Y)
(米国) 2月 CPI
(米国) 2月 実質平均時給
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(10Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。